

参考資料

1、「地球平和フォーラム愛知」(Aichi Forum for a Peaceful Earth)

- ・ 愛知・名古屋を舞台に政治・経済・学界の分野で活躍した市民が、万博時に「地球平和フォーラム」を開催することを目的に組織した自主的な市民団体である。
- ・ 万博の誘致に活躍した「地球市民の会」の会長を務めた梅村清弘氏(名古屋市昭和区 中京大学理事長・総長)が発議し、16名が参加して2003年11月7日に発足、代表に加藤延夫氏(愛知芸術文化センター総長、愛知医科大学理事長・学長、元名古屋大学総長)を互選した。

2、ラッセル・アインシュタイン宣言

・核危機の克服を訴えた哲学者バートランド・ラッセル(Bertrand Russell)と物理学者アルバート・アインシュタイン(Albert Einstein)を中心とする世界的科学者の声明。湯川秀樹博士ら11名が署名、1955年7月9日に発表。

- ・米ソの水爆実験競争という世界情勢に対し、同宣言は「存続が疑問視されている人類という種の一員」という立場から発言し、核戦争の廃絶を訴えた。

・パグオッシュ会議(Pugwash Conference)は、この宣言の精神を引き継ぐ科学者の国際会議。57年：第1回をカナダのパグオッシュ村で開催、日本から湯川秀樹博士、朝永振一郎博士らが参加。

- (1) 核エネルギー使用が引き起こす障害
- (2) 核兵器の管理
- (3) 科学者の社会的責任などを討議

95年同会議とジョセフ・ロートブラット(Joseph Rotblat)会長(当時)がノーベル平和賞を受賞。